



# 働く姿にベテラン社員にも刺激



## 福栄工業(株)

若松区響町1-90-4

代表取締役社長 石川 利彦 さん

様々なプラントにおける製缶・ステンレス製缶品・配管の製作

◀石川利彦社長(左から2人目)、ハビブ アルジュフリさん(4人目)

### 外国人採用を始めた理由は何ですか

ずばり人手不足です。採用しても定着しないことが続き、11年前に外国人を採用することにしました。初めての外国人雇用はベトナム人技能実習生2人でした。面談のときは日本人と同じく、当社の経営理念「感謝」に共感する人を採用しています。

### 初めて受け入れるときに準備したことはありますか

社内の雰囲気づくりです。外国人を採用することを社員に話すと、不安を感じた社員が大多数でした。受け入れを納得してくれた2人の職人に、採用した2人をマンツーマンで教育してもらいました。採用した外国人が一生懸命働く姿に、2人のベテラン職人は自分たちが高度経済成長期に職人になった頃と重なり、熱心に指導してくれたおかげで、周りの職人たちにも自然に溶け込こんでいきました。

また、(石川社長の)母と姉や女性社員たちが、日用品の買い物や日本での生活の仕方など、日常生活のサポートをしました。休日は職人さんが花見や釣りに連れて行ってくれ、外国人を家族と同じように接したことで「守られている」と感じていてくれたようです。

### 外国人を採用してよかったことは何ですか

社内のコミュニケーションが活発になりました。インドネシア人は明るい性格の人が多く、素直にわからないことは質問するし、職人の技に素直に感心するので、ベテラン職人たちも喜んで教えています。また、ベトナム人とインドネシア人が日本語で打ち合わせしているのを見ると微笑ましい気持ちになります。

今春から数年ぶりに日本人の新卒高校生2名を採用することが出来ました。(日本人を雇えないから入れた)外国人の若手社員を見て、「見学した企業のなかで、一番若手が生き生きと働いています」と話してくれ、採用につながりました。

### どのような環境が外国人にとって働きやすいでしょうか

母国の家族や友人と離れて、日本で働くのは寂しいものです。現在3か国13人の外国人が働いていますが、一時帰国したいときはみんなで休暇の時期を調整してくれるので、仕事に支障なく休める環境になっています。

### これから外国人を採用する企業へのメッセージを

これから、労働者人口は減っていき、外国人が重要な働き手になります。安価な単純労働力として考えるのではなく、技術を伝承し昇給もして、また家族のように接することが定着のカギだと思っています。

## ハビブ アルジュフリ さん

出身地 インドネシア



「若い世代がいきいき働いている会社」と入社を決め手にもなっている

### この会社を選んだ理由は何でしたか

造船所で外国人技能実習生として働き、いったん母国に帰国しました。再度、日本で働こうと友人と調べていたら、福栄工業のホームページを見つけ、求人募集をしていたので、応募しました。社長とはウェブで面談しました。

### コミュニケーションで工夫していることはありますか

溶接の技術を生かして仕事ができ、特段困ることはありません。わからない日本語ができたら、メモを取り、家で勉強します。特定技能2号を取得したら、家族を呼び寄せられますので、今は頑張っ勉強しています。

### 外国人採用に関心がある企業にどのような工夫をしてほしいですか

福栄工業は一時帰国したいときに帰れるのが本当に嬉しいです。昇給もあり、仕事を認めてもらえています。日本で働きたいと思っている友人に福栄工業を勧め、実際に数名入社しています。